

◎人権教育授業『「いのち」ってすばらしい』（11/12 授業）



ゲストティーチャーと意見交流し、大切に守り育てられていることに気づき、自分の成長に関心をもつことができた。

ゲストティーチャーのメッセージ

○今のままのあなたでいいんだよ。(みんな愛されている。)

○赤ちゃん先生プロジェクトの体験を忘れないでほしい。

○計5回に渡って、赤ちゃんとそのお母さんと交流する「赤ちゃん先生プロジェクト」を実施した。

**第1次 自分はどれだけ大きくなったかな（第1回赤ちゃん先生プロジェクト）**

第1回「自分はどれだけ大きくなったかな」（5/31実施）



(ねらい)「赤ちゃんを知る。」「自分の成長を感じる。」  
初めて、赤ちゃん先生とふれあう中で、手や足の大きさを比べたり、赤ちゃん先生の生まれた時のことを聞いたりすることで、自分の成長に気づき、「もっと知りたい」「もっと交流したい」という意欲・関心をもつことができた。

**第2次 赤ちゃん先生とふれあおう（第2～5回赤ちゃん先生プロジェクト）**

第2回「みんなちがってみんないい」（7/5実施）



(ねらい) それぞれを認め、受け入れることが大切だと気づく。  
生まれる前のお母さんのおなかにいる赤ちゃんの心臓の音を聴かせてもらったり、ママ講師の子育ての悩みを聞いたりした。

第3回「泣いてもいいんだよ」（10/31実施）



(ねらい)「泣くことも表現の一つと知る。」「思いやりの気持ちをはぐくむ。」  
お母さんが5分間いない間に赤ちゃんを自分たちでお世話をする体験をした。友だちと協力して一生懸命、泣く赤ちゃんをあやそうとしていた。後の児童の感想には、「お母さんってすごい。」というものが多く、育てることの大変さと、愛情を込めて育てられていることに気づくことができた。

第4回「命の力」（12/13実施）



(ねらい)「命の奇跡を知る。」「自己肯定感をもつ。」

(児童の感想)

- ・生まれてきた命は、3億分の1の確率と聞いて驚いた。
- ・今、自分が生まれてきたことは、すごいことだなと思った。
- ・生まれてこられない命があることを知って、命の大切さを感じた。

第5回「みんなの未来」（1/12実施）



(ねらい)「みんな大事な命とを感じる。」「赤ちゃん先生の、自分の未来を考える。」  
赤ちゃん先生に一人一人が感謝のお手紙を書き、その場で読んで渡した。どの児童も今回が最後ということで名残惜しい様子だった。その後、一人一人、ママ講師から一つ一つ手作りの心のこもった修了証をいただいた。

**【児童の感想】**

- ・ 今日、赤ちゃん先生プロジェクトをしました。前よりも手足が大きくなっていき、何も持っていないのに（つかまらなくても）立っていたので、とてもびっくりしました。（2回目）
- ・ お母さんが5分間いなくなった時に、抱っこしたり「よしよし」したりしてあげましたが、大変でした。毎日世話をしているお母さんはすごいなと思いました。（3回目）
- ・ 今日は最後の赤ちゃん先生プロジェクトでしたが、もう会えないと思うととてもさみしい気持ちになりました。このプロジェクトで命の大切さが分かりました。また会いたいです。（5回目）